

行事等

1月7日：第10回動物福祉・愛護委員会（Web）
1月10日：第41回産業動物臨床・家畜共済委員会（Web併用）
：令和6年度「アジア地域臨床獣医師等総合研修及び家畜感染症防疫技術等の現地普及強化事業（第4期）」第2回事業推進委員会，令和6年度「アジア獣医師総合研修及び普及促進強化事業（第5期）」第2回検討部会（Web）

1月24～26日：第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和6年度）
1月24日：令和6年度日本獣医師会獣医学術学会誌編集委員会
1月29日：令和6年度第1回動物ID普及推進会議（AIPO）幹事会
：令和6年度第10回業務運営幹部会

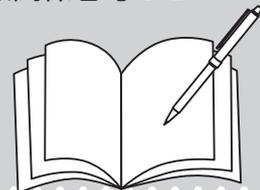
【お詫びと訂正】

本誌第77巻12号535頁 解説・報告「—海外で活躍する獣医師（Ⅳ）— 終わりなき修行の旅：苦闘の経験から考える臨床獣医学教育の展望」（林 慶）本文16行目「～位置付けたい。」に続けて「内容はあくまで私見であり記憶違いがあったら予め謝罪しておく。」の一文を追加して修正し、お詫び申し上げます。

日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会では、会員構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお、投稿に際しては、「日本獣医師会雑誌投稿規程（第77巻12号562頁に掲載）」を参照願います。



日本獣医師会獣医学術学会誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会学会においては、構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者からの獣医学術学会誌掲載の研究論文を随時募集しておりますので、奮ってご投稿願います。

学会では、獣医師専門職をはじめ、獣医学系大学の学生、獣医学関係分野の研究者等が学術研究の発表をされる場として、獣医学術学会誌への投稿原稿を広く募集しています。

日本獣医師会が毎年度開催する獣医学術学会年次大会で一般口演された研究発表等も、是非ともご投稿いただき、誌面での発表をお願いします。

なお、投稿に際しては「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程（第77巻12号570頁）」及び投稿原稿の審査や編集が円滑に行われることを目的に策定された「日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き（第77巻12号574頁）」を参照願います。

募 集

日本獣医師会 第37回日本動物児童文学賞作品募集要項

～人と動物との共存等を扱った作品の募集～

1 名 称

第37回日本動物児童文学賞

2 目 的

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。）の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供達が正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

3 募集期間

令和7年1月1日(水)～同年4月20日(日)
(※当日消印有効)

4 募集内容

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。（ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。）

5 応募規定

(1) 原則として日本語ワープロソフト等を用いて作成した電子データによる原稿とし、原稿データを郵送または電子メールへの添付により『10 応募先』に送付すること。手書き原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。
(2) ワープロソフトを使用する場合は、A4判横向き〔43字×28行〕を縦書きで作成すること。本文（あらすじを除く）の総枚数は13枚以上20枚以内、フォントは游明朝体又はMS明朝体とし、サイズ（文字の大きさ）は12ポイントとする。ただし、手書き原稿の場合は、400字詰原稿用紙を縦書きで使用し、本文の総枚数40枚以上

60枚以下とする。

(3) 1枚目は応募用紙、2枚目はあらすじ、3枚目からは本文とする。最初の1枚目の応募用紙には、①タイトル、②応募者の氏名（フリガナ）、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号／FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物（種を一般名詞で記載すること）、⑪原稿（応募用紙、あらすじを除く）の枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。

2枚目には、400字以内で作品のあらすじを記載すること。

3枚目から本文を開始し、ページ番号を中央下部に記載すること。

（応募用紙とあらすじはページ数に含まない）

2枚目、3枚目には氏名及びタイトルは記載しないこと。

行間に関して、文学的な効果を明らかに超えているものは、選考対象外とする。

(4) 原稿は、ホッチキスや、とじ紐などで綴じないこと。

(5) ふりがなを付する必要がある場合は、ワープロソフトのルビ機能を使用すること。

(6) 応募者の個人情報の取扱いは以下のとおりとする。応募者及び、応募者が未成年の場合その保護者は、内容を確認し、同意したうえで応募すること。

① 個人情報保護管理者

公益社団法人 日本獣医師会 事務局長

② 利用目的

応募者の統計的分析、作品の審査、審査結果の連絡など「第37回日本動物児童文学賞」に係る事務処理。

③ 個人情報の第三者提供

本人の個人情報を第三者に提供しない。

④ 個人情報の委託先への提供

「第37回日本動物児童文学賞」に係る事務処理業務を遂行するために必要な範囲内で個人情報を委託先に提供することがある。

⑤ 個人情報に係る問合せ窓口

個人情報に係る問合せは下記『11 問合せ先』に示す連絡先の個人情報保護担当者まで連

絡できる。

尚、個人情報をご提出することは任意ですが、必要事項を提出しない場合、適切な選考・審査ができない場合があります。

6 応募資格

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

7 賞

日本動物児童文学大賞 1作品 =30万円
日本動物児童文学優秀賞 2作品以内=20万円
日本動物児童文学奨励賞 5作品以内=5万円

※副賞は所得税法に則り源泉徴収の対象です。

大賞・優秀賞受賞作品は日本動物児童文学賞受賞作品集に収録され広く配布される。

なお、大賞及び優秀賞を受賞した場合には、受賞作品の作者は挿絵を3枚以上本会へ提供すること。

8 発表

令和7年9月下旬頃に、本会のホームページ上で受賞作品を掲載する。

9 主催

公益社団法人 日本獣医師会

10 応募先

応募原稿受付専用メールアドレス：

bungaku@nichiju.or.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会 宛て

*応募の際は、郵送の場合は封筒に、電子メールの場合は件名(タイトル)に、「第37回日本動物児童文学賞 応募作品 在中」と記入すること。

*上記メールアドレスへ原稿を送った場合、応募受付の確認メールが4営業日以内に届かなかった際には、『11 問合せ先』に連絡すること。

*データ原稿と紙面の原稿を重複して送付しないこと。

11 問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1601

※応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可

12 著作権

(1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。

(2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。

13 その他

(1) 応募作品は返却しない。

(2) 生成型AI等を用いて作成した作品、生成型AI等を用いて作成したものに手を加えた作品の応募は不可とする。

(3) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手320円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する。(発行済み在庫限り。)

案 内

第65回 獣疫学会学術集会のご案内

獣疫学会では、下記の通り学術集会を開催いたします。ご興味のある方は是非ご参加ください。

日 時：2025年3月9日(日) 9:00～17:00

開催方法：対面及びWebexによるオンライン配信
でのハイブリッド開催

対面開催会場：日本獣医生命科学大学第一校舎
E棟1階E111教室

内 容：

9:00～12:00 一般演題口演会
(演題は2月下旬に公表予定です)

14:00～17:00 シンポジウム：牛伝染性リンパ腫
に対する新たな取り組みについて

講演1：主要組織適合抗原とEBLの感染、
発症と予防

間 陽子 先生
(東京大学大学院農学生命科学研究科)

講演2：牛伝染性リンパ腫ウイルス株の
分子解析：感染制御戦略の展望

村上裕信 先生
(麻布大学獣医学部獣医学科)

講演3：宮崎県における牛伝染性リンパ腫の
清浄化に向けた取組について

牛谷雄一 先生 (宮崎県農業協同組合)

総合討論会

参加費：獣疫学会の正会員・学生会員・賛助会員
は無料

非会員は3,000円(振込手数料はご負担く
ださい。)

**参加申込(非会員にあっては申込・参加費振込)の
締切**：2025年2月18日(火)

※事前登録制となりますのでご注意ください。

- ・お申込みは獣疫学会ホームページ (<https://vet-epi.org/>) の専用リンクよりお願いします。
- ・更新情報、一般演題一覧等のご案内については、
随時ホームページをご確認ください。
- ・お問合せ：獣疫学会事務局 (jsve-soc@umin.
ac.jp)

案内

第11回大動物臨床研究会東京シンポジウム

テーマ：家畜の消耗性疾患を探る
～感染性下痢症と蹄病～

開催日：2025年3月1日(土) 10:00～17:30

会場：東京大学農学部1号館8番教室
(〒113-8657 文京区弥生1-1-1)

大会長：望月 学
(東京大学大学院農学生命科学研究科)

主催：大動物臨床研究会 (会長：高橋俊彦)

参加費：正会員 1,000円 非会員 4,000円
学 生 1,000円

参加登録：[https://forms.gle/
NXQcLqpbT9Gg4hZ99](https://forms.gle/NXQcLqpbT9Gg4hZ99)
(当日参加も可能です)



プログラム：

- 講演1 (10:10～11:10)
牛の靴 益子 正 (日本装削蹄協会)
- 講演2 (11:10～12:10)
蹄病治療を再考する
菊池允人 (千葉県農業共済組合)
- 総合討論 (12:10～12:30)
- ランチョンセミナー (12:40～13:30)
牛サルモネラ不活化ワクチン「ボピリスS」紹介
松倉 奨 (MSDアニマルヘルス㈱)

- 協賛企業からの話題提供 (13:30～14:15)
- 教育講演 (14:15～15:30)
牛のサルモネラ症 秋庭正人 (酪農学園大学)
- 講演3 (15:45～16:30)
一酪農場における牛サルモネラ症発生事例
福田茂夫 (酪農学園大学)
- 講演4 (16:30～17:00)
診療区域内のサルモネラ対策とサルモネラグブリンの発生事例
的場雄太郎 (北海道農業共済組合)
- 総合討論 (17:00～17:20)
- 意見交換会 (18:00～20:00)
Bar アブルボア (東大農学部向ヶ岡ファカルティ
ハウス2階), 参加費 6,000円

〈問い合わせ〉

村上高志 (大動物臨床研究会事務局, 酪農学園大学)
〒069-8501 江別市文京台緑町 582
☎011-388-4725
E-mail: t-murakami@rakuno.ac.jp

お知らせ

日本獣医師会獣医学術学会誌の著者負担金の改訂について

日本獣医師会獣医学術学会誌に係る著者負担金に係る消費税について、従来は料金に含んで対応してきたところですが、編集費や印刷費等の値上がりに伴い、内税での対応が困難となりました。一方、令和5年10月1日から開始される消費税のインボイス制度に伴う消費税額の明示への対応が求められています。つきましては、令和5年6月1日以降に発行する請求書から、外税として対応することとしましたのでお知らせします。

1 投稿規程第9条第1号関係

筆頭著者が会員構成獣医師及び個人賛助会員（学生賛助会員を含む。）の場合は、審査料及び掲載料ともに要しないが、これ以外の者については、次の審査料及び掲載料を納入する。

- (1) 投稿時審査料：10,000円
（ただし、学生の場合は、5,000円とする。）
- (2) 採用時掲載料：50,000円
（ただし、学生の場合は、10,000円とする。）

2 投稿規程9条第2号関係

超過頁の作成料：15,000円／1頁

3 投稿規程第9条第3号関係

原図の作成料：

実費相当額（1枚につき5,000円程度）

4 投稿規程第9条第4号関係

別刷の印刷料：

実費相当額（モノクロ刷り上がり4頁（表紙付き）100部につき30,000円程度）

ただし、カラー印刷を希望する場合は、応相談。

※金額は全て税抜き価格です。

（令和5年6月1日改訂）